

Surveillance HDD



サステナビリティ・レポート*



Seagateにおけるサステナビリティ

Seagateは持続可能なストレージの提供に取り組んでいます。エンジニアリング・チームは、ストレージの容量と利用の拡大だけでなく、使用する資材の品質と種類の管理や、エネルギー効率とリサイクル可能性の向上にも重点を置いています。

持続可能な設計の特徴

- 低消費電力により熱放出を削減し、監視ソリューションの信頼性を高めることができます。
- 耐変色性に優れた部品が環境的要素からドライブを守り、フィールド信頼性を向上。
- 100万時間のMTBFが総所有コスト (TCO) を改善し、メンテナンス・コストを削減します。

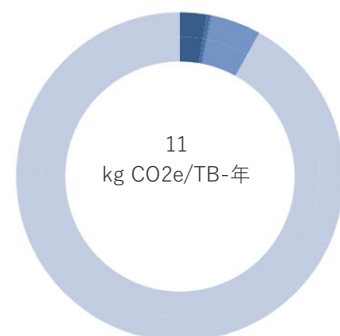
エネルギーと温室効果ガス

製品を製造し使用するためにはエネルギーが必要であり、温室効果ガス (GHG) が放出されます。当社はライフサイクル・エネルギーとGHGの影響を評価し、エネルギーとGHG効率の向上、各新世代の製品の所有コストの削減に取り組んでいます。

消費電力	単位あたり	TBあたり
動作時の平均消費電力 (W)	5.5	1.38
アイドル時の平均消費電力 (W)	3.2	0.80
スタンバイ/スリープ・モード、標準 (W)	0.25	0.06
年間平均 (kWh)	7.75	1.94

ライフステージごとの温室効果ガス放出量

3%	■	ビル・オブ・マテリアル
0.3%	■	流通
0.2%	■	製品寿命情報
5%	■	製造エネルギー
0.1%	■	パッケージ
92%	■	使用段階



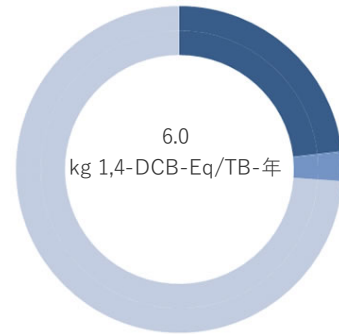
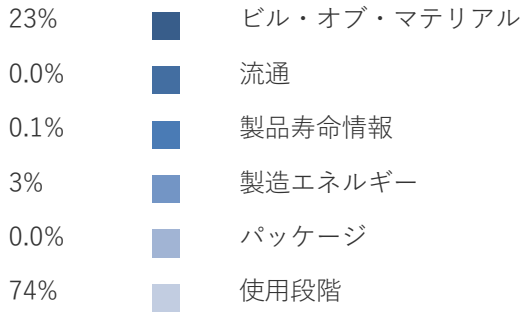
* Surveillance HDD : ST4000VX000 - 4,000GB、64MB、SATA、3D/6H (2016)



安全な資材

Seagateは大手OEMに供給するトップ・サプライヤとして、直接資材（当社製品の原料となるコンポーネント）について、顧客の厳しい仕様を満たすよう基準を定めるお手伝いをしています。当社は規制物質の正確な目録を作成し、現在2,000件以上をリスト化しています。

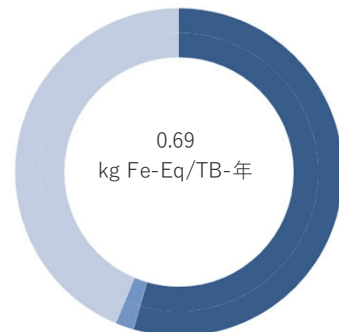
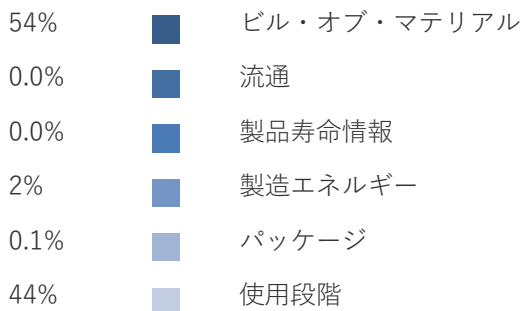
ライフステージごとの人体に対する毒性



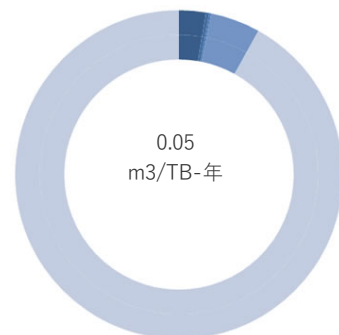
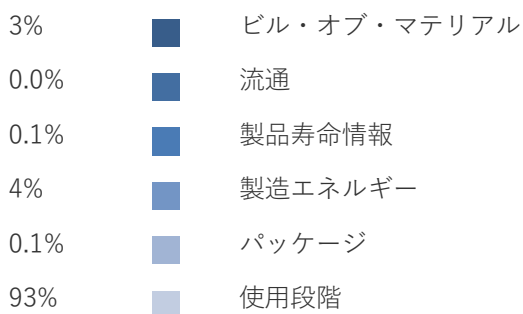
希少資源

当社は、製品のライフサイクルを通じて希少資源の使用を減らすことを目指しています。主な天然資源に依存する度合いを極力減らすために水および金属の枯渇が製品に及ぼす影響を評価し、製造および製品の所有コストを削減しています。

ライフサイクルごとの金属の枯渇



ライフサイクルごとの水の枯渇



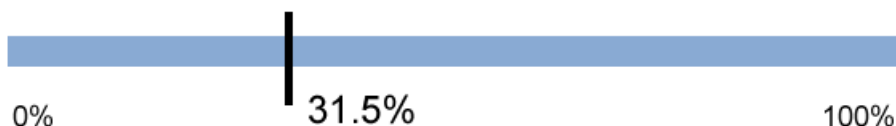


資材の効率性および循環性

Seagateは、「資源の投入、生産、破棄」をベースとしてビジネスに取り組む従来型の線形アプローチは持続可能とは言えないと認識しています。当社は、ストレージのTBあたりの使用資材、リサイクル・コンテンツの使用、再利用率、リサイクルの種類およびリサイクル性といったさまざまな指標を使用して、循環経済に向けた歩みを測定しています。

デバイスの重量 - 出荷済 (g)		単位あたり	TBあたり
ドライブ	ケース	490	123
	メディア	118	29
	電子回路	12	3
	その他の部品	1	0
パッケージ	段ボールおよび紙	43	11
	その他の資材	19	5
合計		684	171

資材の循環性指標



主な循環性のパラメータ	単位あたり
予想動作寿命	5年
リサイクル・アルミニウムおよびスチール含有量	世界平均
リサイクル段ボール	100%
再利用含有量	0 (なし)
リサイクル率	25%
残余分廃棄	50%焼却/50%埋め立て
再利用率	0 (なし)
リサイクル性	95%
リサイクル収集の効率性	90%

Seagateは、TB-年ベースで製品のサステナビリティ活動を測定し報告しています。Seagateのドライブにはさまざまなサイズがあり、耐用年数も異なります。ドライブの容量を示す場合、1テラバイト (TB) は1兆バイトに相当します。TB-年の測定は、サステナビリティの成績データが製品全体で比較できるように、また年間の影響が直接報告されるように、これらの因子を組み合わせています。

製品の持続可能性分析の生成に使用されるSeagateのサステナビリティ評価ツールは、ISO 14040、ISO 14044、世界資源研究所および持続可能な発展のための世界経済人会議のGHGプロトコール製品のライフサイクルに関する会計および報告基準に従ってULにより検証されています。